



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 1日 日曜日	試合コード	17
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	八代市総合体育館

結果	A	スコア				B
	セネガル	24	前半	29	ルーマニア	
12-15						
後半						
12-14						
第一延長前半						
—						
第一延長後半						
—						
第二延長前半						
—						
第二延長後半						
—						
7m c						
—						
SEN				ROU		

戦況	見出し	SEN健闘するもROUの高さと試合運びの上手さが上回る
	前半	SENのスローオフで始まったこの試合、まず主導権を握ったのはROU。高さを生かした、多彩な攻めでリードした。NO11やNO8のロングシュートなどで立て続けに得点を重ねた。一方SENはROUの高いディフェンスになかなかシュートまでいけない場面もあったが、早いパス回しで揺さぶりながら、カットインなどで果敢に攻め入った。ROUのNO8のロングシュートの威力はますます冴え、一気に離しにかかった。しかし、SENのGKもロングシュートを再三阻止し、流れをSENに引き寄せ、ほぼ同時に退場者を出したROUの守りを崩し、一時は2点差まで詰め寄せた。
後半	後半の立ち上がりで先手を取ったのはSEN、NO15の7mスローで得点。ROUのNO8も中央からのロングシュートで応酬し、両チームのGKの好守もあって一進一退の攻防が続いた。中盤に差し掛かると、ROUの大型PVのNO21のシュートをSENは防ぎきれず、立て続けに7mスローを与えてしまい、これをROUのNO8が確実に得点に結びつけた。SENは後半も粘り、NO44のサイドシュートや速攻で追い上げるも、最後はやはりROUポイントゲッターのNO8のロングシュートや速攻によって突き放された。しかしながら、ROUの高いディフェンスに横への速い動きと1対1に果敢に挑んだSENの健闘が光った。	



戦況作成者

河野 彰 寛